

経営ビジョン2030

九電グループは、今後も事業活動を通じて、基盤である九州の持続的発展に貢献し、地域・社会とともに将来にわたって成長していくために、長期的な経営の方向性として、2019年6月に「九電グループ経営ビジョン2030」を策定しました。

本経営ビジョンでは、「2030年のありたい姿」とその実現に向けた3つの戦略を定めるとともに、経営目標を設定しています。

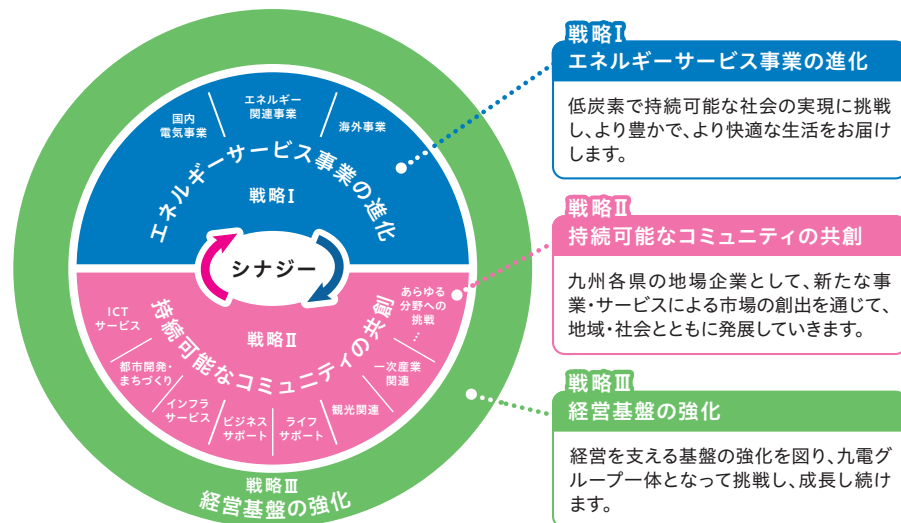
本経営ビジョンのもと、グループ一体となって様々な取組みを進めることにより、地域・社会とともに持続的な成長を目指すと同時に、ステークホルダーの皆さまへの価値提供を果たしていきます。

● 2030年のありたい姿

九州から未来を創る九電グループ

～豊かさと快適さで、お客さまの一番に～

● ありたい姿実現に向けた3つの戦略



戦略Ⅰ エネルギーサービス事業の進化

低炭素で持続可能な社会の実現に挑戦し、より豊かで、より快適な生活をお届けします。

戦略Ⅱ 持続可能なコミュニティの共創

九州各県の地場企業として、新たな事業・サービスによる市場の創出を通じて、地域・社会とともに発展していきます。

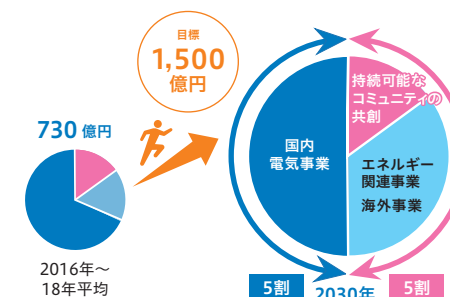
戦略Ⅲ 経営基盤の強化

経営を支える基盤の強化を図り、九電グループ一体となって挑戦し、成長し続けます。

● 経営目標

連結経常利益	1,500億円 (国内電気事業5割、その他事業5割)
--------	--------------------------------------

グループ一体となってありたい姿実現に向けた戦略を推進し、2030年の連結経常利益1,500億円(国内電気事業5割、その他事業5割)を目指します。



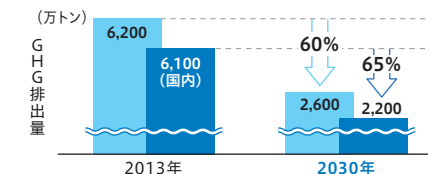
[株主還元について]

利益還元としての配当については、まずは震災前水準(50円程度/株)を目指していきます。その上で、将来的には、安定配当を基本としつつ、その他事業の成長を踏まえた利益還元を考慮することで、株主還元の更なる充実を図っていきます。

● 経営目標(環境目標) ※:2021年11月改定(従前の目標を上方修正)

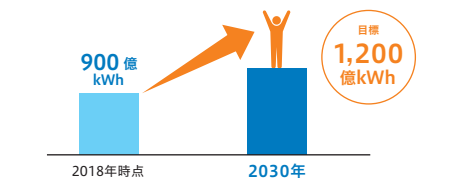
カーボンニュートラル実現に向けた取組みの柱である「電源の低・脱炭素化」と「電化の推進」に挑戦し続け、エネルギー需給両面の目標の達成を目指します。

供給側	サプライチェーンGHG排出量を60%削減(2013年度比) 国内事業は65%削減(2013年度比)
-----	--



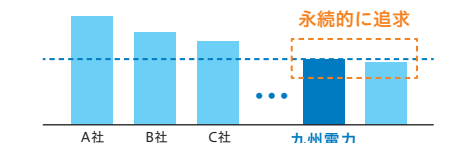
総販売電力量	1,200億kWh
--------	------------------

国内及び海外での小売・卸売を合わせた総販売電力量1,200億kWhを目指します。



トップレベルの電気料金の永続的な追求

ありたい姿実現に向けた戦略の推進を通じて、トップレベルの電気料金*を永続的に追求していくことで、地域活性化に貢献し、九州とともに九電グループも成長していきます。



※:再生可能エネルギー発電促進賦課金、燃料費調整額、消費税を除く

需要側	九州の電化率向上に貢献 (家庭部門:70%・業務部門:60%)
-----	------------------------------------

